

かごしま近代文学館企画展

向田邦子の はじまり

私の頭の後ろに、自分専用のマッチ箱みたいなテレビがついてて、
そこに何か見えるような気になるわけです。

「MORE」1980（昭和55）年8月号



ライフワークとなった
「だいこんの花」

主な展示資料

台本「だいこんの花」、
草稿「だいこんの花」、
台本「カンガルーの反乱」、
構想メモ「カンガルーの反乱」、
原稿「びっくり箱」、
構想メモ「最後の自画像」など

2023.11.1^{WED} ~ 2024.1.22^{MON}

9:30-18:00（入館は17時30分まで）

かごしま近代文学館

休館日 火曜日（1.2は開館）、12.29~1.1、1.4
観覧料 一般300（240）円、小・中学生150（120）円

※（ ）内は20名以上の団体料金 ※年間パスポートもご利用になれます

※特別企画展「さまよえる有島武郎」の観覧券（10.27-11.27の期間）でもご覧になれます

〒892-0853 鹿児島市城山町5番1号 TEL 099-226-7771

<https://www.k-kb.or.jp/kinmeru>



ライフワークとなった「だいのこの花」

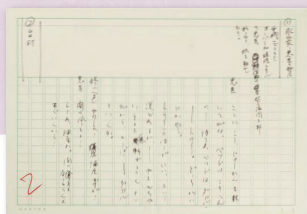
現在の

テレビドラマは、サブ
スクリプション（定額制）を
利用して、視聴者が見たい時に
見るというスタイルが浸透してきてい
ます。映像を見る媒体も様々で、TV、
携帯電話、PC と半世紀前まで、テレビでしか見
ることができなかった世界はいつのことかと思うほどです。
脚本家・向田邦子は、テレビドラマの世界を築き上げた
一人といっても過言ではありません。
山田太一や倉本聰などの脚本家と同時期に活躍し、ホーム
ドラマ全盛期を支えた向田は、現在、多くの脚本家の憧れと
なっています。本展では、この向田邦子の脚本家人生のはじ
まり、そして、ライフワークとなったテレビドラマ「だいのこの花」を中心に、テレビドラマの世界が変貌を遂げる今、
向田ドラマの新たな魅力や視点を探ります。

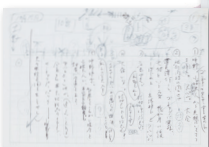
向田邦子の はじまり

かごしま近代文学館企画展

主な展示資料



草稿「七色とがらし」▶
構想メモ「最後の自画像」▼



▶草稿「だいのこの花」
▼台本「だいのこの花」



1964 (昭和39) 年、霞町のマンションにて。
向田は、独立生活を始め、シナリオライターの
道を歩み始めます。



向田 邦子 (1929-1981)

東京府荏原郡世田ヶ谷町若林 (現・東京都世田谷区若林) 生まれ。10歳の時、
保険会社に勤める父親の転勤に伴い、鹿児島で2年3か月を過ごす。1947 (昭
和22) 年に実践女子専門学校 (現・実践女子大学) 国語科に入学。卒業後は、
広告会社の社長秘書から映画雑誌「映画ストーリー」の編集者を経て、29歳で初
めてテレビドラマ「ダイヤル110番」の台本を執筆。ドラマ「時間ですよ」「だいのこの花」
「寺内貫太郎一家」など多くの作品を生み出し、ホームドラマのゴッドマザーと呼ばれるよ
うになる。
1976 (昭和51) 年、エッセイの連載を開始。これをまとめた『父の詫言状』が出版され、
話題を呼ぶ。1980 (昭和55) 年、「小説新潮」に連作短編小説「思い出のトランプ」を連載。この
中の「花の名前」「かわうそ」「犬小屋」の3編により第83回直木賞を受賞。1981 (昭和56) 年、
エッセイ執筆のため台湾を旅行中に、航空機事故により51歳でこの世を去る。

関連イベント

1
講演会

「阿修羅とミシン - 向田邦子のテレビドラマ」

講師：岡室 美奈子氏
(早稲田大学文学学術院教授・
早稲田大学演劇博物館前館長)



日時：12/3 (日) 14:00-15:30

会場：かごしま近代文学館
文学ホール

対象：一般

定員：200名 (先着・要申込)

料金：常設展観覧料 (一般300円) が必要

申込：電話 (099-226-7771) または
専用申込みフォームにて
※定員に達し次第受付終了



2
講座

脚本リーディング「だいのこの花」を読む

リーディングをとおして、
向田作品「だいのこの花」の魅力を楽しむ講座です。

講師：福園 宏美氏
(劇団 LOKE 代表、俳優、脚本家)

日時：11/4 (土)、11/18 (土)、12/9 (土)、
12/16 (土)、12/23 (土) (全5回) 13:30-15:00

会場：かごしま近代文学館 メルヘンホール

対象：一般

(初心者、劇団などに所属していない方、舞台経験のない方)

定員：15名 (先着・要申込)

料金：年間パスポート
(文学館600円、共通1,000円)

申込：電話 (099-226-7771) または
専用申込みフォームにて
※定員に達し次第受付終了



脚本リーディングとは？

様々な解釈がありますが、一般的に、演者が台本を片手に演じる
舞台作品のことです。台本を片手に演じる舞台は、台詞を覚える
必要がなく、気負わずに向田作品を楽しむことができます。

3
トークイベント

ギャラリートーク

担当学芸員が展示内容を解説します。

日時：11/25 (土) 13:30-

場所：企画展会場

料金：常設展観覧料 (一般300円) が必要

【交通案内】

●鹿児島中央駅から
市電：2系統鹿児島駅行き【朝日通】下車 徒歩7分
バス：天文館・市役所方面行き【金生町】下車 徒歩7分
カゴシマシティビュー：【西郷銅像前】下車 徒歩3分
車：約10分

●鹿児島空港から
リムジンバス：鹿児島市内行き【金生町】下車 徒歩7分
高速自動車道をご利用の場合：鹿児島北インターチェンジ
より鹿児島市内方向へ約15分

【駐車場のご案内 (無料)】

●来館者用駐車場：13台
(軽9台 / 一般車2台 / 身障者用2台)
●近代文学館メルヘン館
美術館共用駐車場：普通車31台
※駐車券を総合案内までお持ちください

かごしま近代文学館

〒892-0853 鹿児島市城山町 5-1
TEL：099-226-7771
URL：https://www.k-kb.or.jp/kinmeru

かごしま近代文学館

近代文学館メルヘン館・美術館
◎ 共用駐車場

